



松下幸之助物語

～電気製品でみんなの暮らしを豊かに～

あ ら す じ

「経営の神様」として知られている松下幸之助は、現在のパナソニックホールディングスを一代で築き上げた経営者です。

もともとは名家に生まれましたが、父親の事業の失敗により、9歳で故郷を離れて働き始めました。当時、まだ高嶺の花だった自転車の販売店で仕事をする中、熱心さ、誠実さ、真面目さが買われ、お客様から大人気に。そして、15歳のとき路面電車の速さに心を奪われ、「これからの時代は電気だ!」と確信します。そこで電灯の工事会社に入り、その後、妻と義理の弟の助けを借りながら会社を立ち上げ、自ら開発した商品を販売し始めます。幸之助の作る商品は品質が良いだけでなく、誰もが使えるように値段も安かったため、広く愛されるようになりました。

大企業のトップになってからも現場に顔を出し、新人にも親しく声をかけ教えを請い、また感謝の気持ちを忘れなかった幸之助は、今尚多くの人に愛されています。

DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 幸之助は9歳で働き始めたのを知って、どう思った？
- (2) 幸之助が一生懸命働いたのは、どうしてだろう？
- (3) 幸之助は失敗してもあきらめなかった。どうしてかな？
- (4) 幸之助はどんな時が一番うれしかったと思う？
- (5) キミは、将来どんなことをやりたい？
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (6) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、お友達と色々な話をしてみましょう。
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。

